



3



4



5



夢二

YUMEJI DESIGN



2

1910-1930 デザイン

千代紙から、銀座千疋屋の図案まで

2021.2.11^{THU} ▶ 6.27^{SUN}

入館にはオンラインによる事前予約（日時指定）が必要です



① 絵封筒（左）題不詳（右）「蟋蟀の秋」1910年代
 ② 『fruits』11月号 表紙 1929年
 ③ セノオ楽譜「菫は散り行く」1926年
 ④ 千代紙「菫草」1910年代
 ⑤ 「雛による展覧会」ポスター 1930年
 ⑥ 『縮刷 夢二画集』1915年

約100年前の日本で「可愛い」というキャッチコピーを使用し、自らデザインしたグッズを売り出した画家・竹久夢二（1884-1934）。

伝統と近代、和と洋の美術様式を交差させて、暮らしに身近な日用品から商業図案まで、夢二は洗練されたデザインを幅広く展開しました。

本展では、1910年から1930年の間に夢二が手掛けた千代紙、絵封筒、雑誌表紙、楽譜表紙、本の装幀、双六、銀座千疋屋のための図案、ポスター、レタリング等を展示紹介し、グラフィックデザイナーの先駆けともいえる、夢二の美の世界を考察します。

参考展示コーナーで、杉浦非水・津田青楓・橋口五葉・恩地孝四郎・武井武雄・小林かいちのデザイン作品も紹介します。

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
 TEL 03(5689)0462

開館時間

午前10時半～午後4時半（最終入館午後4時まで）

休館日 月・火曜日

※ただし2/23、5/3、5/4（祝）開館2、24（水休館）

※新型コロナウイルスの影響により、会期・休館日が変更になる場合があります。

入館料

一般1000円／大・高生900円／中・小生500円
 ※弥生美術館も併せてご覧頂けます。